



「後期が始まります」

チャプレン トマス 河村博之

皆さんは夏季休暇中どのように過ごされたでしょうか。コロナの影響により思い通りに過ごせなかった、また行動制限がないため満喫したなど、思いは様々だったでしょう。

9月5日(月)～9日(金)本学で向洋中の2年生の生徒4名が「トライやるウィーク」で本学を訪れました。キリスト教センターでは礼拝体験・パイプオルガン体験・アフリカの難病の子供たち支援プロジェクトのレクチャーやパネル作成・平和について考えるなどで時間を過ごし、中学生が積極的に取り組む姿勢に感心しました。中学校の先生方が毎日のように様子を見に来て励ましの言葉をかけておられました。大切にされている生徒たち。ここでの体験が何らかの形で花開くことを願っています。

また、礼拝体験は毎日の13:00から昼の礼拝で祈禱書を用いて行いました。式文にある聖書を、祈禱書の言葉か聖書の言葉かのいずれかで読むよう、実際に読み比べて読みやすい方を選んで朗読するという課題を出しました。中学生の皆さんは読み比べをしたときは祈禱書の方が読みやすいという感想を述べていましたが、実際に朗読するときは聖書から読んでいました。下読みしたときに聖書の方が読みやすいと思ったのでしょうか。

間もなく後期の授業が始まります。学生の皆さんをチャペルでお待ちしています。

聖書の言葉：「あなたの御言葉は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯。」

詩編 119 編 105 節

ひとくち 「疲れた者は…」

暑さ厳しかった夏が過ぎて秋になると疲れを感じる場合がありますね。また、これとは別に新学期が近づくと憂鬱になるという人もいるかも知れません。レポートの文献をまだ読んでいない…、就職活動が進まない…、家族とうまくいっていない…、同じクラスに会いたくないやつが…など、考え始めるといろいろなことが心の重荷になりそうです。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

〔マタイによる福音書 11 章 28 節〕

これは、イエスのもとに来れば安らぎと癒しが与えられるという聖書の有名な一節です。昼の礼拝の時だけでなくひとりで来て黙想したり瞑想したりする学生や教職員がいます。ひとりで静かに自分を見つめたり、振り返ったり、短い時間でも誰かのために祈りたい時には、いつでもチャペルへ来て下さい。(F)





ウクライナのための祈り

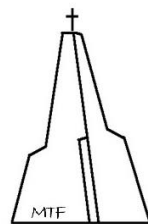
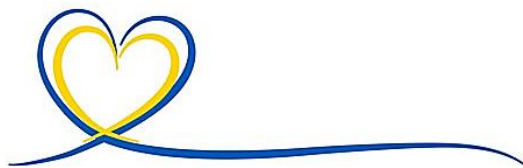
正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教

A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF 神戸国際大学キリスト教センター